

中央会 おかやま

連 挑 感 ～連携・挑戦で感動の先駆者たれ～

組合活性化情報

岡山県中央会 web site <https://www.okachu.or.jp>

E-mail chuokai@okachu.or.jp

2023
March Vol.737

INDEX

Leader's「i」株式会社長谷井商店……2～3p

中央会の取組紹介ほか……4～8p

がんばる組合の紹介……9～11p

情報連絡員レポート……12～14p

インフォメーション……15p



新たな販売戦略を打ち立てながら、
従業員への還元とのサイクルを回していきます



代表取締役
中島 俊子 氏

リーダーズ「アイ」

株式会社長谷井商店 代表取締役 中島 俊子氏

中央会おかやま 2023年3月記

2

新たな販売戦略を打ち立てながら、従業員への還元とのサイクルを回していきます

■会社の概要について教えてください

1929年創業当時より蒲鉾・さつま揚げ（関西以西では天ぷらと言います）・鮮魚カステラ・細工物などの魚肉練製品全般を製造しています。創業当時は岡山市場での商売が中心でしたが、新たなターゲットとしてスーパーや百貨店などの量販店を開拓、岡山から全国への販路を拡大するなど、時代と共に販路開拓に努めました。

すり身の品質にこだわり、創業当時よりお客様に愛されている味を守り、今でも職人が手作業で造り上げています。他社にはない商品を開発することで、全国の百貨店や高品質スーパー、近年エキナカブームのJR西日本様やJR東日本様ともお取引いただいています。一方で、コロナ禍や社会情勢による、原材料高騰や仕入の不安定さ、需要の減少などの懸念材料もあり、常に新たな販売戦略を検討しています。

■販売戦略の取組について教えてください

女性や若い人にも手にしていただきやすいポップなパッケージで統一した『モグシーシリーズ』、高齢化社会の課題であるフレイルに対応した魚肉練製品『やわらか蒲鉾』など、新たな市場を模索し、商品の開発を行っています。

『モグシーシリーズ』は岡山産のレモンピール、チーズ、とうもろこしなどを使用し、真空パック包装で保存期間を長期にすることにより販路先も広がり、新たな分野でもあるカルディファーム珈琲様ともお取引いただいています。

『やわらか蒲鉾』は飲み込む力が弱まり、ミキサー食な

どが増えている高齢者にも、以前のように目でも食事を楽しんでもらいたいという思いから開発に取り組みました。通常弊社が使用しているすり身とは異なる、弾力の弱いすり身を使用し、柔らかくなるように配合にも工夫を重ね、同時に高齢者にとって重要なタンパク質をより多く摂取できるように大豆タンパクも配合。形状は親しみのある日の出蒲鉾とし、柔らかいながらもしっかりと長谷井の味である蒲鉾に仕上げました。岡山医療生活協同組合と連携して開発に取り組んだ商品で、現在は関連病院で試験販売中。今後は介護施設や病院、高齢者の多い地域の販売店などにアプローチをしていきたいと考えています。

また、全国でもほぼ岡山でしか食されていない低利用魚『ひら』を使用した揚げ蒲鉾を開発しました。中国銀行様の『地域産品販路開拓プロジェクト』に採択され、サポートをいただきながら開発に取り組みしました。弊社は岡山水産物流通促進協議会の事務局も務めており、協議会の連携団体とも協力しながら、引き続き、未・低利用魚の普及促進にも努めていきます。

昨年11月には、お惣菜・お弁当のお店『はせいのおそうざい 物』をオープンしました。事業再構築補助金にも採択された魚肉練物製品以外の新分野展開に挑戦したもので、長谷井商店の2本目の柱としていきたいと考えています。

■今後はどんなことに力を入れていきたいですか

社員への還元強化を第一に考え、そのための会社の経営数字の精査を行おうと考えています。昨年には物価高も勘案してベースアップを実施しましたが、他にも社内の労働



(左上)「やわらか蒲鉾」(右上)ひらを使用した揚げ蒲鉾「ひらてん」(下)「モグシーシリーズ」



環境の整備、例えば包装資材の改善による作業の効率化など、仕事の負荷の削減に努めます。

働く人に『この会社で働いて良かった』『自慢の会社だ』と言ってもらえる会社であるべきと思っており、継続的に給料・福利厚生の充実を図るとともに、その計画を分かりやすい形で提示できるようにしたいですね。また、その

源泉として会社がどのように利益を確保していくのか、改めて会社の数字を精査したいと考えています。現在創業96年ですので、4年間で各商品の利益率等を見つめ直し、全社体系的な戦略を練り直したうえで100周年を迎えたいと考えています。

頼りになる右腕社員

「はせいのおそうざい」惣「店長 柴田 勝利氏

「美味しい惣菜、お弁当で食べた人を笑顔にする」お店でありたい

■現在の業務内容について教えてください

岡山市内、県庁通りにある、惣菜・お弁当の専門店「はせいのおそうざい惣」の店長として、お店の管理全体を任されています。

元々、神戸で寿司店の板前から始まり、独立して小料理屋を経営していましたが、阪神淡路大震災により店が被災。その後、和食店、洋食店の厨房を経験した後、縁があり7年前に（株）長谷井商店に入社しました。入社後は岡山天満屋店で蒲鉾・さつま揚げの調理担当を行っていました。が、昨年の新店舗開店から店長を務めています。

■店長としてどんなことを意識していますか

「長谷井のお惣菜を晩ご飯に1品追加することで、ご飯の時間をもっと楽しくさせる」「美味しい惣菜、お弁当で食べた人を笑顔にする」そんなお店でありたいと考えています。そのため味には妥協せず、私が100%納得できた味だけを、自信をもって提供するということを強く意識しています。

また、何度お越しいただいても新しいお味を見つけていただけるように、随時メニューを変更するとともに、品揃えはできるだけ多く、旬の食材を使ったお料理なども提供することを心掛けています。

■店長として今後力を入れていきたいものはありますか
スタッフ教育に注力していきたいと思っています。

先日、新型コロナウイルスに感染してしまった際には、長期間店舗を閉めることになってしまいました。現状、自分の代わりにお弁当・惣菜の調理を務められる人材はいませんので、いざというときには、分担しながらでも対応できる体制を何とか整えていかなければいけないと考えています。

私の若い頃は「職人の技術は目で見て盗め」という世界で育ってきましたが、今の時代はそれでは難しいと思いますので、「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ」を実行する様にしています。

一方で、マニュアル的に教えてあげられないことの多さも実感しています。例えば、急遽注文が入り、今ある材料を使って多数の弁当を作らなければいけないといった、決められた手順がない場合への対応力などです。こうした力を身に着けるには、周囲を観察しながら経験を積むことが結局大事なんだと感じており、スタッフにも常に周りを見る様に指導しています。

■最後にお客様に一言お願いします

当店は、人と人の繋がり、あったかさを感じられるお店です。お客様からの「あれが食べたい」「これを取り扱って欲しい」といった要望にも、可能な限りお応えさせて頂いています。ぜひお気軽にお越しください。



はせいのおそうざい(惣)で販売している惣菜



企業プロフィール

企業名：株式会社長谷井商店
創業：1929年3月
所在地：岡山市北区二日市町232番地
電話番号：086-225-0691
FAX：086-222-8001
資本金：1,200万円
従業員数：27名
HP：http://www.hasei.co.jp

(取材／総務企画課 藤田)

G7倉敷労働雇用大臣会合 記念フォーラムのご案内



G7倉敷労働雇用大臣会合の開催機運を高めていくこと、「働き方」に関する意識改革を行うことを目的として、「G7倉敷労働雇用大臣会合記念フォーラム」を開催します。

岡山県とG7倉敷労働雇用大臣会合推進協議会の主催で、厚生労働省が後援、岡山県中央会は事業委託団体として運営に参画しております。年度末のお忙しい時期ではございますが、組合及び企業の皆様のご参加をお待ちしております。

〈フォーラムの概要〉

●開催日時

3月14日(火)13時30分～16時30分
(受付開始12時45分～)

●開催場所

岡山コンベンションセンター
1F イベントホール
(岡山市北区駅元町14番1号)

●開催方法

会場及びオンライン同時配信

(定員各300名)

●参加費等

参加無料・要申込み

(駐車場のご用意はありません。各自でご用意ください)

●主な内容

●基調講演①

「人生100年時代、しなやかに
生き抜くために」

講師：三宅 民夫氏

(フリーアナウンサー(元NHKエグゼクティブアナウンサー))

●基調講演②

「みんなが輝く働き方〜これから
の多様で柔軟な働き方の視点〜」

講師：小室 淑恵氏

(株ワーク・ライフバランス
代表取締役社長)

●申し込み方法

左記URLよりお申込みください。
<https://forms.gle/5MjM9ddl646pgln4A>

●問い合わせ先

岡山県中央会 企業人材支援課
TEL: 086・224・2245



合同入社式・新入社員研修の 参加者募集中!

岡山県中央会では昨年に引き続き、会員組合及び組合員企業の皆様、当会の事業をご活用いただいている企業の皆様の新入社員を対象として、合同入社式及び新入社員研修を実施します。

2日間の開催となりますが、いずれかのみの参加も可能。参加者の新卒、既卒は問いません。新入社員同士の交流や仲間づくりの機会を提供し、職場定着を後押しすることを目指したものです。ぜひご活用ください。

1日目

●日時

4月3日(月)13時30分～17時15分

●場所

サン・ビーチOKAYAMA
ビーチホール

(岡山市北区駅前町2・3・31)

●定員、参加費

50名、税込8,000円/1人

●主な内容

・合同入社式
(祝辞・記念撮影・講話など)

・研修「新入社員に求められる基本マナーを学ぶ」
(講師：浅沼美枝氏)

2日目

●日時

4月7日(金)9時30分～17時

●場所

第一セントラルビル1号館大ホール
(岡山市北区本町6・30)

●定員、参加費

50名、税込12,000円/1人

●主な内容

・研修「社会人チームワークの基本習得講座」
(講師：コオ・マネジメント(株)
代表取締役 窪田司氏)

●申込方法その他詳細

左記URLよりご覧ください
<https://www.okachu.or.jp/2023/01/10/en-trance-ceremony-2/>



●問い合わせ先

岡山県中央会 企業人材支援課
TEL: 086・224・2245

SMTS2023

岡山県ブース出展

去る2月15日から17日の3日間、千葉県の幕張メッセにて開催されたスーパーマーケットトレードショー2023に岡山県ブースとして出展、県内18事業者が商談や商品PRを行いました。

例年通り、桃色を基調としたブースデザインを採用しており、来場者からは「岡山県はいつもピンク色で分かりやすく良いですね」との声もいただき、当展示会にて岡山県ブースの認知度が高まっていることを実感しました。

昨年度はコロナ禍での開催の影響



もあり、3日間で約42,000人の来場者でしたが、今回は約1.5倍の62,525人の来場者となりました。人数ベースではコロナ禍以前よりまだ若干少ないものの、昨年度には減少傾向であった関東圏以外のバイヤーも多く訪れ、参加事業者からは数多くの商談の実施や、目当てのバイヤーへのPRができた等の声が聞かれ、今後のフォローによって多くの商談成立が期待されます。

また、今回はジェトロの実施する視察型オンライン商談会にも参加する事業者もあり、岡山県ブースの目の前でタブレット端末を利用したハイブリッド形式の商談を実施、その場で成約の案件も出るなど、新たな手法が身近になったことも感じられました。

当会は今後も県内外での商談の場を提供することで、県内食品メーカーの活躍の場が広がるような支援を検討していきたいと考えています。

(イノベーション推進課 林)



岡山県ものづくり女性中央会会員のグリーンツール株、岡山働き方改革パイオニア企業を受賞

働き方改革を実践している企業の優れた取組事例を発信し、働き方改革の取組を広く普及させることを目的とした、おかやま働き方改革会議（事務局：岡山労働局）が、「岡山働き方改革パイオニア企業」を選定し、去る2月17日に表彰式が行われました。



5回目となる今回は、働き方改革関係法の円滑な施行を促進している県内企業4社のうちの1社として、岡山県ものづくり女性中央会会員の

グリーンツール株が表彰されました。

表彰式につづき、表彰企業による事例発表がオンラインにて行われ、各社独自の取組好事例が発表されました。

岡山県中央会では、岡山県ものづくり女性中央会の活動である「経営塾」「採用塾」などによる採用力向上を働き方改革に取り入れ、引き続き、人材確保・職場定着が生産性向上・企業発展に繋がるようサポートしてまいります。

(企業人材支援課 市村)

●グリーンツール株の取組概要

- ・水曜日を「フリー残業デー」に設定。
- ・残業を事前申請にすることで、残業時間削減や他部署からの応援による労働者間の負担平準化を図っている。
- ・年間休日を毎年1日ずつ増加。
- ・パート社員に対して、祝日を休日に設定。
- ・半休制度を導入し、有休取得促進。
- ・多能工化による休暇をとりやすい職場環境づくり。
- ・勤怠管理システムで休暇取得日数を管理し、取得が低調な社員に上司から積極的な取得を促す。
- ・パート社員の正社員化促進。一方でパート社員等の勤務時間を本人の希望に添える体制を構築。
- ・女性リーダーの積極的登用。定時退社、休暇取得促進等、子育て中でもリーダーとして働きやすい環境整備。
- ・国籍問わず優秀な外国人を採用し、職場定着に注力。
- ・子が小学生以下であれば時短勤務が可能で、本人の希望によりその後も継続可能。介護者も無理なく継続して働ける体制を整備。

経産局委託のD・E&Iカレッジ 人材確保に向けた取組内容を共有 成果発表会を開催

去る2月7日、中国経済産業

局委託事業である人材確保支援等事業の一環として、D・E&Iカレッジ成果発表会を開催しました。

この成果発表会は、同事業に参加し、人材確保に向けた業務仕分け等に取り組んだ製造業11社の取組と成果を共有し、振り返りと相互研鑽を行うことを目的としたものです。

た点

・求人票の見直し（人材要件、職種・適性毎の掲載へ変更）、採用イベントへの積極的参加、現場管理職（直属の上司となる人）の面接参加

④ 一年間の成果と振り返り

・実績：内定16名、内定辞退者6名、入社5名（中途3名、派遣2名）
（うち短期離職1名、入社予定5名（新卒3名、海外2名）

・多数の人材が確保できたものの、一方で内定辞退者が6名と多く、応募者との関係の築き方には改善の余地あり。

●具体的な成果の一例

A社（倉敷市内の製造業）

① ターゲットの人材像は？

・地元志向の20・30代独身男性
・ガテン系モノづくり好き（未経験者可）

② 人材確保、育成、定着に向けた取組内容

・人材確保については、掲載誌の活用、人材紹介、学校訪問、公的イベント活用

・育成については、社内外研修の充実、資格取得の補助
・定着については、1on1面談、賞与やインフレ手当支給

③ ②の中で自社なりに工夫し

●事業全体としての成果

今回の事業の取組で、多数の人材確保に成功しました。また業務仕分けで作業内容を切り分けたことで、シニア人材等、従来は募集対象ではなかった



人材層の採用にも繋がっています。

事業につきましては、今年度で一旦終了となりますが、今年度の成果につきましては、3月中旬頃に事例集として取り纏め、岡山県中央会のホームページにて公開を予定しています。各社の取組につきましては、ぜひご参考にしていただければ幸いです。

（企業人材支援課 板倉）

あいサポーター研修 障害者差別解消法セミナーを開催

岡山県中央会は、去る

2月9日に岡山県と（公社）岡山県社会福祉士会と連携し、あいサポーター研修・障害者差別解消法セミナーをきらめきプラザ（岡山市）にて開催しました。

このセミナーは、改正障害者差別解消法が公布され、障害のある方への「合理的配慮の提供」が、2024年6月までに事業者等に義務付けられることを受けて開催したものです。

従来から岡山県が実施している、あいサポーター研修は、障害者へのちょっとした手助けや心くばりなどを実践する「あいサポーター運動」について学ぶものです。今回は、研修にあわせて改正法や「合理的配慮の提供」等についてのセミナーを開催。（公社）岡山県社会福祉士会の障害者権利擁護委員会運営委員の佐藤伸隆氏を講師に迎え、事例を交えた解説をいただきました。

参加した11社の企業担当者からは、「自分の意識を変える良い機会になった。もう少し時間をかけてお話をうかがいたい」などの声が寄せられ、関心の高さがうかがえました。

あいサポーター研修の講師派遣をご希望の方や、障害者の差別解消や障害者雇用等についてのご相談については、（公社）岡山県社会福祉士会までお問合せください。

●問い合わせ

（公社）岡山県社会福祉士会
TEL 086・201・5253



晝田会長の叙勲祝賀会、開催

（社）日本金属プレス工業協会の元会長で、岡山県中央会会長などを務める晝田眞三氏の令和4年秋の叙勲（旭日小綬章）と、第78回山陽新聞賞（産業功労）受賞を祝う会が、去る2月16日に、ホテルグランヴィア岡山で大勢の受賞を祝う方々のご参加のもと開催されました。発起人代表の三菱自動車の加藤隆雄社長のご挨拶の後、山陽新聞社の松田正己社長、岡山県の小谷敦副知事ほか、多くの皆様より祝辞が送られました。

また会では、厚生労働大臣加藤勝信様よりビデオメッセージによる祝辞のほか、ヒルタ工業（株）のタイやインドネシア、メキシコなど海外拠点の従業員の皆様から、多くのお祝いのメッセージが流されました。

晝田会長は、「支えていただいた多くの方々の代表としての叙勲や受賞だと感じており、今後皆様のご支援を力に頑張りたい」と謝辞を述べました。



（総務企画課 村上）

事業継続力強化セミナー開催 全国から組合青年部関係者等が岡山に集結

去る2月6日に、ここ岡山で全国中小企業団体中央会主催の事業継続力強化セミナーが開催（岡山県中小企業団体中央会後援、岡山県中小企業団体青年中央会協力、会場のホテルグランヴィア岡山には、100名を超える岡山県内・県外の若手経営者等が集まりました）。

セミナーでは、まず（独法）中小企業基盤整備機構の藤田朋幸氏に、事業継続力強化計画を策定する際のポイントや注意点等についてご説明を頂きました。



その後、全国中小企業青年中央会の役員、岡山県中小企業団体青年中央会の松本宏行会長らをパネリストとし、「組合青年部を通じて事業継続力強化ネットワークの構築に向けて」というテーマでパネルディスカッションが行われました。

それぞれの青年部に共通する課題等が浮き彫りになるとともに、事業継続の観点における組合青年部に期待される役割の重要性が改めて感じられるものとなりました。

セミナーの最後には、「めざまし8」等のTV番組に出演されている、気象防災キャスターの天達武史氏に「今知ってほしい自然災害と防災対策」というテーマで講演を頂きました。気象予報士ならではの観点から防災対策についてお話し頂いたあと、質疑応答では、天気・気象について参加者から寄せられた質問についてお答え頂きました。



セミナーの終了後には交流懇親会が開催されました。ミス日本酒（MISS SAKÉ）2023岡山グランプリの中島咲希氏にご紹介を頂きながら、岡山県産日本酒の飲み比べも実施するなど、県外からの参加者に向けた岡山県の魅力発信を行いました。業種や都道府県の垣根を超えた交流が時間の許す限り行われ、セミナーから懇親会まで盛会のうちに終了しました。

（組織支援一課 長木）

インボイス制度の負担軽減のための経過措置について

免税事業者等からの仕入税額控除が一定割合認められる

適格請求書等保存方式の下では、適格請求書発行事業者以外の者からの課税仕入れについて、仕入税額控除を行うことができません。ただし、適格請求書等保存方式開始から一定期間は、適格請求書発行事業者以外の者からの課税仕入れであっても、一定の割合を仕入税額とみなして控除できる経過措置を講じることとされています。

●対象期間と割合

期 間	割 合
2023年10月1日～2026年9月30日	仕入税額相当額の80%
2026年10月1日～2029年9月30日	仕入税額相当額の50%

納税額を売上税額の2割とすることが可能(2割特例)

納税額を売上税額(売上にかかる消費税額)の2割とすることを選択できる経過措置を講じることとされています。

●対象者

免税事業者からインボイス発行事業者になった方、基準期間(個人事業主:前々年度、法人:前々事業年度)の課税売上が1千万円以下等の要件を満たす方)

●対象期間

2023年10月1日～2026年9月30日を含む課税期間

※個人事業者は、2023年度(10～12月)の申告から2026年分の申告まで対象

●補足:簡易課税制度について

簡易課税制度は、基準期間における売上高が5000万円以下の事業者が適用できる制度。業種に応じて設定されているみなし仕入率(下表参照)を売上税額にかけて仕入税額を算出し、納税額を計算する仕組みです。

卸売業	小売業等	製造業等	その他事業	サービス業等	不動産業
90%	80%	70%	60%	50%	40%

●本則課税、簡易課税との比較事例

サービス業等で、売上が700万円(売上税額70万円)、仕入が150万円(仕入税額15万円)の場合

本則課税の場合: 売上税額70万円 - 仕入税額15万円 = 納税額55万円

簡易課税の場合: 売上税額70万円 × (1-0.5) = 納税額35万円

2割特例の場合: 売上税額70万円 × 0.2 = 納税額14万円

●事務負担の軽減

簡易課税制度を適用する場合には、「事前の届出」と「業種に応じた売上の区分経理」が必要となりますが、2割特例の場合には、「事前の届出」は不要で、申告時にチェックを入れるだけで手続きが完了し、売上の内容にかかわらず、一律に売上税額の2割が納税額となります。

1万円未満の経費はインボイスの保存がなくても控除可能(少額特例)

1万円未満の課税仕入れについて、適格請求書の保存がなくても帳簿の保存のみで仕入税額控除を認める経過措置を講じることとされています。

●対象者

基準期間の課税売上が1億円以下または1年前の上半期(個人は1～6月)の課税売上が5千万円以下の方

●対象期間

2023年10月1日～2029年9月30日

※本文は2023年2月時点の法令等に基づき作成しています。詳細は以下URLよりご覧ください。

国税庁 インボイス制度特設サイト

<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/invoice.htm>

財務省 インボイス制度の改正案について

https://www.mof.go.jp/tax_policy/summary/consumption/invoice/index.html

インボイス制度の

専門家派遣(無料)のお知らせ

2023年10月1日から消費税の適格請求書等保存方式(いわゆるインボイス制度)が施行されることとなっています。

インボイス制度においては、買手として消費税の仕入税額控除を受けるためには原則としてインボイスの保存が必要になり、売手としてインボイスの交付を行うためには2021年10月から開始されている「適格請求書発行事業者」の登録申請が必要になります。

そのため、岡山県中央会では、制度開始に向けて制度の内容を理解し、事業者の方々の円滑な準備を促すため、アドバイスを必要とされる方について、無料で専門家(税理士等)を派遣いたします。

組合及び組合員企業の方で、専門家の派遣をご希望の方がいらっしゃいましたら、お気軽に岡山県中央会にご相談ください。

●派遣期限

2023年12月20日

●問い合わせ先

岡山県中央会 組織支援二課
電話：086・224・2245



岡山県遊技業協同組合

岡山県および岡山県警察と、

災害時の施設使用等の協定を締結



左から三澤専務理事、千原理事長、伊原木県知事、檜垣警察本部長、三井副理事長、中村副理事長

2月9日、岡山県遊技業協同組合、岡山県、岡山県警察の3者により「災害時の施設使用等に関する協定」が締結されました。

協定の内容は、災害時に、岡山県等の要請に応じて、組合員のパチンコ店等施設の駐車場を提供するというもの。約110店舗に約38,000台分の駐車スペースがあり、住民の一時避難場所や、警察・消防等の災害活動拠点等としての使用が想定されています。

伊原木隆太郎知事は「今後、南海トラフ地震の発生も予想されている。事前に協定を締結しておくことで、災害発生時の初動が非常にスムーズになる」と話され、組合の千原行喜理事長は「水・コンロ・毛布などを自主的に用意している店舗もある。住民の方にパチンコ店が近くにあると良かったと思って貰えるよう、有事に備え、コミュニケーションなども行っていきたい」と話されました。

(総務企画課 藤田)

協同組合ウイングバレイ

官民連携BCP策定の取組

協同組合ウイングバレイでは、内閣府事業「国土強靱化に資する地域ブロックでの官民連携に係る調査業務」に取り組んでいます。

この事業は、大規模自然災害発生時に、行政機関(国・地方公共団体)、民間インフラ管理者等が連携・協力する体制を構築し、地域の強靱化を図るため、地域産業の根幹をなす工業団地を軸にした「官民連携による連携型BCPの策定」により、被災時における産業の早期復旧と地域経済の早期回復を目指すもの。ウイングバレイでは昨年度から取り組み、3~4年かけて構築する計画となっています。

去る1月16日には、ウイングバレイ会議室において、事業の一環として初めてのワークショップが開催され、岡山県、総社市の行政機関や、中国電力、NTTドコモなどのインフラ業者による災害時の対応についての説明ののち、西団地・東団地それぞれのエリアにおける災害時の対応策などについて、各団地ごとに白熱した議論が交わされました。



今後は、入手すべき情報や方法・手段の整理や、連絡体制などのルール整備を行うとともに、定期的に関係者が顔を合わせ、行政、インフラ事業者との連携体制の構築に取り組み予定です。

(組織支援二課 金田)

岡山県テント工業組合

組合版BCPが認定

緊急物資供給の仕組みづくりなど

岡山県テント工業組合では、組合版BCP（連携事業継続力強化計画）の策定に取り組み、2023年2月に経済産業大臣の認定を受けました。組合がBCPに取り組んだのは、2018年に発生した西日本豪雨で、岡山の各地で大きな被害が発生し、組合員に影響があったほか、現地復興に向けて岡山県との災害協定を締結したことがきっかけでした。

は、組合員にBCPの意義や取組内容について説明があったほか、より広域な連携支援を図るため、組合が所属する日本テントシート工業組合連合会の中国四国ブロック協議会の各組合による広域連携型BCP（2023年2月認定の調印式が行われました。

主な取組内容には、災害発生時の早期復旧に加え、組合員のハザードマップ等による災害時のリスク把握や、テント、シート等の緊急物資の迅速な供給と対応する仕組みづくり、各組合員企業での従業員、顧客等の命を守る避難手順の取り決め、メンバーリストによる相互連絡体制の確立などがあります。

調印式には、（独）法中小企業基盤整備機構の村松清孝副理事長をはじめ、中国四国ブロック協議会の各組合の理事長などが参加し、県域を越えた広域連携の第一歩を踏み出しました。

同組合の角田熱志理事長は、「国内で安全な地域などなく、いつ大規模災害が発生するかわからない。手探り部分もあるが、常に意識して迅速な対応ができるよう組合員及び従業員に意識づけを行っていききたい」とコメント。

2月に開催された同組合の総会で



（イノベーション推進課 岡崎）

岡山県中央会共済事業『業務委託制度』のご案内

岡山県中央会では、共済制度の主力商品「オナーズ・パートナーズプラン」を対象に、業務委託制度を実施しています。協同組合と岡山県中央会が業務委託を締結後、組合員企業やその従業員が、対象商品に新規加入又は既契約からの切り替えた場合、中央会が組合に「加入斡旋手数料をお支払いするものです。ぜひ導入をご検討ください。

●対象商品

『大樹生命』の生命保険商品
（オナーズプラン・パートナーズプラン）

●主な特徴

- ①事業所の事業保全資金対策（経営者の入院・疾病・休業時等の保障）
- ②経営者・役員の退職慰労金等の準備
- ③経営者の事業承継・相続等の対策
- ④従業員の生命保険・入院・疾病保障等

●加入促進手数料

月額保険料	加入促進手数料
～5,000円	2,000円
5,001円～10,000円	3,000円
10,001円～15,000円	4,000円
15,001円～20,000円	5,000円
20,001円～25,000円	7,000円
25,001円～30,000円	9,000円
30,001円～35,000円	11,000円
35,001円～40,000円	13,000円
40,001円～45,000円	15,000円
45,001円～50,000円	17,000円
50,001円～	20,000円

●業務委託制度に関するQ&A

- ※月額保険料は1保険契約単位の保険料とします。
- ※年払保険契約は月額保険料に換算（年払保険料×1/12）します。
- ※加入促進手数料は1保険契約単位ごとに計算し、一括して委託契約組合にお支払いします。
- Q…業務委託制度導入のメリットは？
A…組合財源確保はもちろん、団体扱いとなるため保険料が割安（最大3%割引）となりますので、ご契約者（組合員企業又はその従業員）にもメリットがあります。
- Q…組合では保険代理店業務を行っています。重複しても良いのですか？
A…「損害保険」の代理店とは異なり、「生命保険」のPR協力等がメインとなります。また、保険代理店業務ではありませんので全く問題ありません。
- Q…制度導入後の業務内容は？
A…面倒な事務手続はなく、組合員確認（名簿提出等）とPR協力などです。（一般的な損保登録代理店業務の様な手続業務、事務作業等は発生しません）
- Q…パンフレット等の配付や商品の説明はどうする？
A…中央会が引き受けます。また、委託会社（大樹生命）の営業担当を現地派遣いたします。
- Q…加入促進手数料は毎年継続して支払われるの？
A…1期間中の契約成立時のみです。（契約成立がある当該期間を対象）
- Q…「大樹生命」の保険商品に既契約がありますが、加入促進手数料の対象になりますか？
A…法人・個人契約とも既契約（一般契約）を中央会扱いに切替える場合は対象になります。
- Q…一般契約と中央会扱いとの違いは何ですか？
A…団体扱いにより保険料が割引されるほか、保険料収納元が中央会（振替日は毎月23日）となりますが、商品内容そのものは全く変わりません。

県外先進 組合事例

沖縄県広告美術協同組合

屋外広告物の点検業務を効率化し、労働環境を改善

■背景・目的

2015年の札幌の看板落下事故、2018年の台風21号の関西での看板の被害など、屋外広告物の落下や倒壊事故が全国で問題視されてきました。

一方、これまでの屋外広告物の点検業務では、目視やハンマーを用いた打音検査で強度を測るなど、主観的な経験値に頼るところもあり、一定の経験値が必要になることからベテラン人材の確保が必要になっていました。また、点検に要する時間も長時間になることから労働環境の改善、作業効率化も解消すべき課題でした。

■取組みの手法と内容

点検技能講習受講修了事業所は組合会員の約3分の2を占めています。が、目視や触診など手作業の点検では人手と多くの時間、危険性と責任を伴う割にその付加価値は見出しにくく、看板の点検業務に対してはまだまだ消極的で、点検を引き受けない事業所も多い状況でした。

こうした課題を解決すべく組合では、働き方改革推進支援助成金を活用して4種の機器を導入し、組合員への貸出業務を開始しました。

機器を使用することで、経験の少ない作業員でも少人数で安全かつ正確な点検が可能になりました。

それだけではなく、機器を使用することにより点検業務の労働環境の改善、品質向上と効率化を同時に実現することができました。また、基準に基づいた数値や画像での情報をデータ化し、耐久性や交換時期をわかりやすく示すことで、点検業務の付加価値が明確になりました。

組合員に対しては、機器使用による作業安全性・労働能率の向上や点検結果数値の見える化について更に周

知し、点検業務の積極的な受注に繋がりたいと考えています。

国のガイドラインが改正され屋外広告物の点検が義務化されているなかで、沖縄県でも屋外広告物条例の改正を準備しており、今後の点検業務の需要に期待したいと考えています。

■成果とその要因

組合の機器貸出事業を利用する組合員からは、「より正確に点検・確認を行えるようになり、今まで以上に危険を察知し易くなった」「機器を使



工業用内視鏡による内部撮影



超音波厚さ計による鋼材の肉厚測定

組合データ

組合で機器を導入し組合員の課題を解決。屋外広告物の点検業務の効率化・労働環境の改善を図り、点検の結果を見える化することで、点検業務の付加価値が明確になりました。



沖縄県広告美術協同組合
所在地：沖縄県浦添市牧港5・15・12階
設立：1978年2月
主な業種：広告業
組合員数：39人

H P : <https://www.o-kanban.com/>

先進組合事例抄録
(収集年度：2021年度より)
※情報は当時のもの

情報連絡員レポート

1月分

景況DI値

() 内数字は前月の数値です。

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全 体	- 8.6 (24.1)	9.5 (7.1)	25.9 (29.3)	- 10.3 (- 8.6)	- 50.0 (- 20.7)	- 15.5 (- 13.8)	- 3.4 (17.2)	- 1.7 (1.7)	- 22.4 (- 6.9)
製 造 業	- 10.3 (31.0)	17.2 (6.9)	37.9 (44.8)	- 10.3 (- 6.9)	- 51.7 (- 34.5)	- 13.8 (- 13.8)	- 3.4 (17.2)	0.0 (10.3)	- 17.2 (- 10.3)
非製造業	- 6.9 (17.2)	- 7.7 (7.7)	13.8 (13.8)	- 10.3 (- 10.3)	- 48.3 (- 6.9)	- 17.2 (- 13.8)		- 3.4 (- 6.9)	- 27.6 (- 3.4)

(注) DI とは、デフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

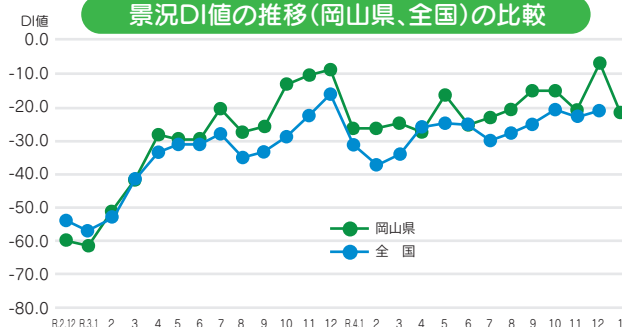
岡山県業界天気図

製 造 業		前年同月比							
業 種		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	業界の景況
食料品	味噌	☀	☀	☀	☁	☁	☁	☁	☁
	米菓	☁	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	製粉・製麺	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	醤油	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	酒造	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
繊維工業	繊維業・井原	☁	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	繊維業・県	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	アパレル・県	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	アパレル・津山	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
木材・木製品	製材・県	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	合板	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
印刷	出版・印刷	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	製本	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
化学・ゴム	ゴム	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	プラスチック製品	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
窯業・土石製品	生コンクリート	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	石灰	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	ブロック	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
鉄鋼・金属	鋳物	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	鉄鋼	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
一般機器	機械器具・東岡山	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	鉄工・津山	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	鉄工・岡山	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	工作機械・総社	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	工作機械・井笠	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	工作機械・美作	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
輸送機器	造船関連	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	自動車	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
その他	量	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀

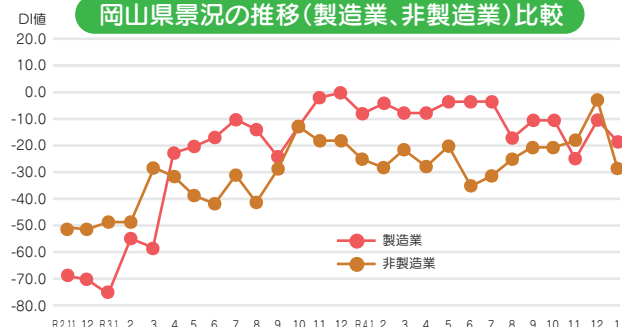
非 製 造 業		前年同月比							
業 種		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	雇用人員	業界の景況
卸売業	機械・工具	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	電設資材	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	青果	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	木材	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	水産物	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
小売業	石油	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	共同店舗	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	中古自動車	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	自動二輪	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
商店街	家具	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	商店街・岡山	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	商店街・津山	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
サービス業	商店街・倉敷	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	自動車整備	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	医療・柔道整復師	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	旅館・ホテル	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	テント	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	異業種	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
建設業	リサイクル	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	住宅リフォーム	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	看板工事	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	土木工事	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	管工事	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
運輸業	防水工事	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	バス	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	タクシー	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
その他	トラック	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	倉庫業	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
	信用組合	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀

業界の景況感（前年同月比） ☀ 3 ☁ 39 ☔ 16 ☀ 増加・上昇・好転 ☁ 変らず ☔ 減少・下落・悪化

景況DI値の推移(岡山県、全国)の比較



岡山県景況の推移(製造業、非製造業)比較



製造業

2023年1月分のコメント

食料品

- 年末からの製品不足が解消できず、欠品の発生、出荷調整が中頃過ぎまで続いた。新規受注・既存の量販共に動きは活発。休み明けは駅・空港共にゆっくり。段ボール・紙製品の値上げが3月の予定。《米菓》
- 新型コロナウイルス感染症終結へ向けた政府の政策が功を奏しつつあるも、一方で相次ぐ原材料高・光熱費高により消費者の買い控えが業況の好転を阻んでいるように思う。《醤油》
- 出荷量は昨年とほぼ変わらない。《酒造》

繊維工業

- 国内は相変わらず停滞、海外は現在のところ昨年並みであるが、物価上昇等アメリカをはじめ世界的不況の兆しがあり受注に以前ほどの勢いが無い。原材料・燃料費や加工賃の高騰により価格転嫁がし切れていない企業は大変厳しい状態にある。《繊維業・井原》

木材・木製品

- あらゆる住宅関連商品の値上げの中で、新設住宅着工戸数の推移は不透明な状況となってきた。《製材・県》

印刷

- 新型コロナウイルスの感染状況が少し落ちつき販促関係の印刷物が増え、又、年度末の受注も昨年に比べ好調。但し、印刷資機材(紙・インキ)の値上がりにより、収益状況は大変厳しくなっている。《出版・印刷》

化学・ゴム

- 業界内での新型コロナウイルス感染症や半導体不足の影響には濃淡があり、取引先により状況も変わっている。それにより組合員が受ける影響も各々異なっている。全体として、為替相場はまだ円安水準ではあるものの落ち着いているが、原料・材料費は高止まり、エネルギーコストは一層の上昇が見込まれ、収益に与える影響は大きい。《ゴム》

窯業・土石製品

- 特段の変化は見られなかった。《ブロック》

一般機器

- 令和4年度の決算は、前年比14.4%の伸びとなった。令和5年度も前年度を上回りたいと思うが、電気料金は、令和3年12月に比べて45%も上がっている。ガス類・油・梱包材等も値上がりが止まらない。何か対策を考えて頂きたい。《鉄工・津山》
- 相変わらずの人手不足により、受注に影響を来している。電気料金は昨年の2倍近くに達し、さらに4月から約3割の値上げを通告されており、収益を圧迫することとなる。《鉄工・岡山》
- 前年比で業績は何とか横ばいを維持している。電気料金に関しては、燃料調整費の影響で前年同月比50%増、更に4月以降は料金改定により30%以上増加する見込みで収益に及ぼす影響は大きい。今後の更なる価格転嫁にも限界はあり、経営努力でどうなるものでもない。そういった環境ではあるが、明るい話題として、組合員A社は工場増設に先だって、駐車場の新規造成工事に着手している。《工作機械・総社》
- 徐々に受注量は増加傾向。年が明け納期も落ち着いた。《工作機械・井笠》

その他

- 寒波と値上げの影響で例年より需要は低く低調。今後が読めない。《畳》

非製造業

2023年1月分のコメント

卸売業

- 取扱量・価格とも前年並みで推移している。 《青果》
- 年末ということで売上は上昇だが、コロナ禍前に比べると人の出が少ない。 《水産物》

小売業

- 1月は寒かったせいか車両の動きが悪かった。相変わらず新車の入荷が少ない。中古車は一時の高値は落ち着いた。 《自動二輪》
- 1月は、新型コロナウイルス感染者数が減少傾向になり、旅行支援が1月10日再スタートされ、我々の業界には顧客が廻ってこない状況が続いていると推察される。インフレも進み取引先からの値上げ要請と運賃の上昇などが相まって年始から厳しい状況に変わりはない。当組合としては、今年度の行事日程を変更することなく実施できているが、年度末を予算案どおりに終われるよう引き続き気を引き締めて事業運営に取り組みたい。 《家具》

商店街

- 平日は寒波の影響もあって来街者は少ないが、週末はコロナ禍前と変わらないように思われる。まだ一部ではあるが業績が上向いてきたとの声が聞かれるようになった。 《商店街・岡山》
- 寒さもあり人通りも疎らであった。 《商店街・津山》
- 1年以上同じ状態にあり商店街を回遊する客がなく、点が点のままで線にならない。 《商店街・倉敷》

サービス業

- 患者さんの受療控えにより、来院患者数が伸びず低迷状態から抜け出せずにいる。5月より感染症の分類が2類から5類に下げられるとの報道に幾分期待しているが、一旦受療控えになった患者さんがどれだけ回復するかは未知数であり、今後も動向を注視していく。 《医療・柔道整復師》
- 組合員の数軒が観光庁の補助事業の一環で改修工事を行っているため、休館しているところがあり売上が減少している。 《旅館・ホテル》
- 建設業組合員については、外国人技能実習生から「特定技能」資格へ移行しての継続雇用が増加、入国待機者も順次入国してきており、追加募集に伴う面接件数も増加。機械加工組合員の技能実習生・特定技能の求人増加に対しては、送り出し国側が対応できない状況であったが、徐々に解消しつつある。サービス業組合員は回復してきており、人手不足の状況が出てきている。介護サービス組合員は、人手不足の状況は解消せず、現地での面接を追加で継続実施している。 《異業種》
- 鉄、非鉄スクラップについては、年末に多少の入荷増はあったが、1月に入りまた発生が少なくなってきた。海外の需要も出てきており、価格は強含み。古紙は、国内メーカーは減産を続けている。その分原料の古紙が余るかと思いきや、発生減の影響から今のところバランスがとれている。 《リサイクル》

建設業

- 資材・機材等の価格高騰を製品に転嫁出来るまでにはもう少し時間がかかると思われる。 《看板工事》
- 1月は天候が悪く現場が詰まっている様子。まだまだコロナ前までは戻らない。 《防水工事》

運輸業

- 観光バスの集客人員は前年比73%となった。前年度に比べ当月は天候にも恵まれず需要減となっている。コロナ禍以前に比べるとまだまだ低調。高速バスは前年比160%とコロナ禍が落ち着く中で停滞していた需要が回復してきている。 《バス》
- 諸費用の値上がりが続く経営を圧迫している。 《タクシー》
- 軽油価格の高止まり・その他経費の上昇を運賃へ充分に転嫁できる状況には未だ至っていないため、中小物流事業者は厳しい経営環境が続いている。加えて、ドライバー不足への対策が死活問題となっている。(適正運賃収受が最重要課題) 《トラック》
- 新たな年のはじまりは、第3四半期からの継続で全般的に停滞気味なスタートとなった。後半には大寒波襲来により物流網の混乱が発生するなど、本来とは違う趣旨で慌ただしい月となった。目先としては、旧正(春節)明けの中国動向が気掛かりなところである。 《倉庫業》

その他

- 新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着き、全業種において売上ベースでは回復基調にある。しかしながら、物価高が急速に進行しており、利益面での圧迫は大きくなっている。コロナ融資等の債務借り換えを含む資金繰り支援をおこないつつ、本業支援についても、強力に推進を図っていく。 《信用組合》

企業の人事担当者の皆様へ 当センターでは

人材の確保・従業員の再就職を支援しています。

※登録・相談・紹介等すべて無料です

お気軽にご相談ください

ご利用時間／9:00～17:00
(土・日・祝日は休業)



公益財団法人 産業雇用安定センター 岡山事務所

〒700-0826 岡山市北区磨屋町10-20(磨屋町ビル4階)
Tel.086-233-3081 Fax.086-233-1227
URL <http://www.sangyokoyo.or.jp/>

産業雇用

検索



協会けんぽ岡山支部の保険料率が変わります

協会けんぽは、中小企業等で働く従業員とその家族が加入する健康保険です。

令和5年3月分(4月納付分)からの健康保険料率は、10.25%が10.07%に、介護保険料率は、1.64%が1.82%に変更となります。

※任意継続被保険者は令和5年4月分保険料から変更となります。

協会けんぽの保険料率については、毎事業年度において、都道府県ごとに地域の医療費等を反映し算定しています。

保険料率 健康保険 介護保険

2月
(3月納付)
分まで

10.25%

1.64%

3月
(4月納付)
分から

10.07%

1.82%

問い合わせ先 協会けんぽ岡山支部 ☎086-803-5780

協会けんぽ岡山 検索



大樹生命保険株式会社

生命保険団体扱オーナーズプランのご案内 大樹生命

BESTパートナー



「経営者のリスクマネジメント」を目的に
組合員がご契約者となる生命保険契約です。

Owner's
Plan

岡山県中小企業団体中央会が事前に認めた会員組合に所属する組合員がご契約者の場合、団体扱*となり、一般扱(口座振替扱月払等)よりも
割安な保険料でご契約いただけます。

* 団体扱とは、岡山県中小企業団体中央会が団体扱としてお申し込みいただいた各保険契約の保険料を取りまとめ、一括して当社へ払い込む取り扱いのことです。

※ 一部対象とならない商品・契約がございます。

※ 詳しくは、「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」「ご契約のしおりー約款」を必ずご覧ください。

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

よりそう保険。



大樹

Taiju Select

セレクト

無配当保障セレクト保険

あなたにぴったりの保障を自由にセレクト!

詳しくは、「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」「ご契約のしおりー約款」を必ずご覧ください。

オーナーズプランは、上記以外の商品もお取り扱いしています。詳しくは下記までお問い合わせください。

大樹生命保険株式会社 岡山支社

〒700-8521 岡山県岡山市北区幸町8-29 大樹生命岡山ビル6F TEL:086-232-2011

<https://www.taiju-life.co.jp/>

R-2021-1007 (2021.10)